

市の宣言  
男女平等参画都市宣言  
非核平和都市宣言  
青少年健全育成都市宣言  
交通安全都市宣言

第1285号

## 介護保険制度 基盤整備が進んでいます



### 高齢者生活訓練施設・在宅介護支援センターなど

市では介護保険制度の充実を目指して様々な基盤整備を進めています。  
4月1日には社会福祉法人南町田ちるばるが整備を進めている第2みぎわホーム(11上写真)が事業を開始します。  
4月15日には、薬師台高齢者生活訓練施設が、入居開始になります。  
その他にも、特別養護老人ホーム芙蓉園(社会福祉法人本一ム芙蓉園)544では、芙蓉会(鶴間544)では、



この施設は、特別養護老人ホーム「みぎわホーム」を増築したものであり、短期入所高齢者在宅サービスセンター、痴ほう性高齢者デイホーム、在宅介護支援センターが整備された総合的な高齢者施設として機能することになります。  
所在地は鶴間329番地、定員は、短期入所11人、デイサービス15人、デイホーム10人です。  
事業開始に先立ち、21日から30日までの間、電話申し込みによる体験入所、体験通所を無料で行います。併せて施設見学会を24日(土)に行います。

## かバレ! 日大三高・桜美林高 壮行会開催

25日から行われる第73回選抜高校野球大会に、都代表として町田市からそろって出場する、日大三高と桜美林高の健闘を願う壮行会が10日、市主催のもとに東急百貨店横広場で行われました。  
見守る市民約700人から大きな拍手がわき上がる中、両校の選手たちが壇上に上がりました。挨拶をした寺田市長は、「この町から二校の出場は、めずらしく、市民に明



激励をうける両校の選手たち

激励の演奏を披露しました。

## 平和への 祈りをこめて —第2号発行—

戦争時代の様子を記したブックレット「戦争時代の体験記 平和への祈りをこめて」の第2号を発行しました。  
今回は、上山町在住の橋本マレさんの体験記「戦争と女学生」国民学校から町田高等女学校へ、森野在住の青木三男さんの体験記「焼夷弾の恐怖」小野路空襲の記録」の2編を収録しています。  
「戦争と女学生」国民学校から町田高等女学校へは、昭和16年12月の太平洋戦争勃発当時、町田国民学校(現町田第一小学校)5年生だった橋本さんが、終戦を経て昭和22年3月に町田高等女学校を卒業するまでの、戦時下の学校生活や日常生活の様子などを記録したものです。本編には、国民学校時代の取組、免除などの勤労奉仕や町田高等女学校時代の相模陸軍造兵廠への生徒動員の様子など、戦争時代の体験に関する原稿を、戦時中(当時の中、町田(当時の南村・鶴川村・忠生村(現忠生))に在住していた方(居住者、学童疎開)の生徒動員の様子など、



4月1日から家電リサイクル法が施行されます。関連記事を3面に掲載しています。併せて資源の分別収集についても4・5面に掲載しています。